

ビジネス・インキュベーション 研究会

2012年度活動報告

2012年11月11日
(場所：武蔵大学)

研究会世話人 鵜飼宏成

起業家を育てる「起業家」

- ① インキュベーション事業をどのような組織設計の下で運営すべきかを再検討する必要あり。
- ② IMの仕事は地域の産業創造の支援。卒業後に実質的な支援に結びつく「企業等が参加しやすいネットワーク構築」意義を再確認。
- ③ IMの仕事が「地域生活創造領域」の支援まで広がっている。これは、BI/IMの新しい意義。

ビジネス・インキュベーション システムに係る研究者の役割

- ① 起業家を育てる「起業家」は既にIMとして登場している。
- ② 産業および生活創造プラットフォームを機能させるという視点から「IMの活動環境（組織設計と運営）」づくりに関わる。
- ③ 議論の余地はあるが・・・起業家を育てる「起業家チーム」という考え方で、状況に応じチームメンバーが適切な人財に交替。

早わかり 現代日本型BI/IM解釈

Q ビジネス・インキュベーション (BI) って何ですか？

産業創造

- 生きるための仕事（産業）を絶えずつくる仕組み。
- 産業創造は人（起業家）によって成される。
- BI事業の中心は「起業家育成」となる。

Q. インキュベーション・マネジャー (IM) って何をする人ですか？

産業創造者

- 産業創造事業の推進者。
- 多様なBI事業の中心は起業家育成者。

地域の中で仕事をつくる仕組みを創り、起業適性者を見つけ、起業家に育て、仕事をつくり、自立と雇用の場を増やす一連の活動を担うのがIM。

Copy Right Satoshi Hoshino 2012.9